

センター試験が共通テストに なって何が変わったのか？ ～外国語（英語）の場合～

東北大学
高度教養教育・学生支援機構
入試センター

特任教授 秦野 進一

- I 大学入学共通テスト(英語)の特徴**
- II 大学入学共通テスト(英語)
に対しての意見・評価**
- III センター試験で問われていた問題形式が
測っていたもの**

- 1 「リーディング」と「リスニング」の2種類の試験で実施
- 2 「知識・技能」を単独で問う問題がなくなった
- 3 実際のコミュニケーションの場面において英語を適切に活用する技能を測る問題の増加
- 4 総語数・図表数の増加

大学入試センター試験の目的

高校段階における基礎的な学
習の達成の程度を判定

筆記

200点

リーディング
とライティング(間接的)
80分

リスニング

50点

60分(解答30分)

外部検定試験 4技能

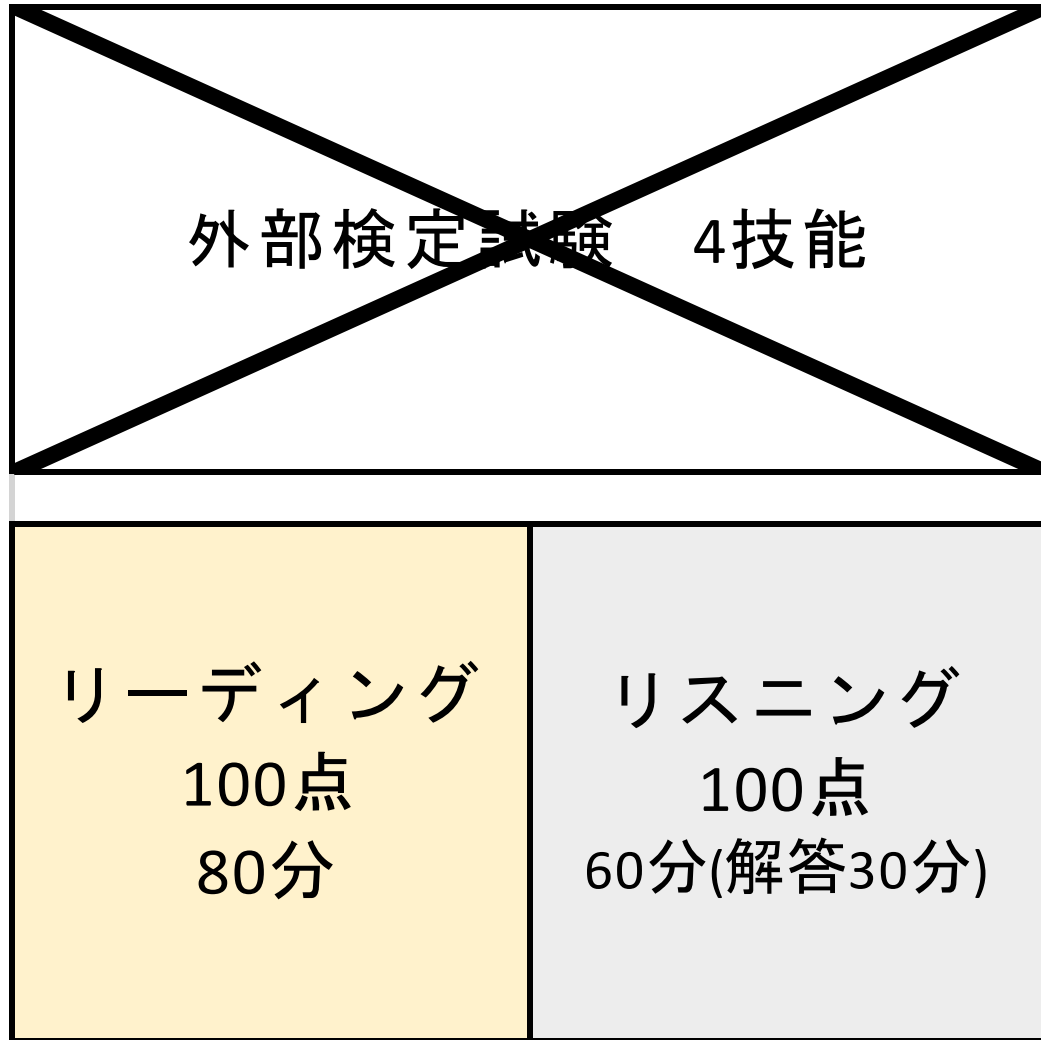
リーディング
100点
80分

リスニング
100点
60分(解答30分)

大学入学共通テストの目的

- ① 高校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定
- ② 大学教育を受けるために必要な能力について把握

共通テストはリーディングと
リスニングの2種類
+ 4技能型の
外部検定試験



外部検定試験の活用見送りに
より、共通テストは**リーディ
ングとリスニングの2種類**に

(書く、話すの2技能については)
「各大学の個別試験などで測
る工夫をしてほしい」
(文科省)

→「大学入試のあり方に関する検討会議」で検討
(2020.12.27～2022.7.8)

I 大学入学共通テスト（英語）の特徴（2）

- 1 「リーディング」と「リスニング」の2種類の試験で実施
- 2 「知識・技能」を単独で問う問題がなくなった
- 3 実際のコミュニケーションの場面において英語を適切に活用する技能を測る問題の増加
- 4 総語数・図表数の増加

センター試験問題構成 (R2)

	出題の内容		設問数		配点率	
第1問	音声の知識	A 単語発音	3	7	3	7
		B 単語第1強勢	4		4	
第2問	語彙・文法語法・表現	A 語彙・文法語法	10	16	10	24
		B 語句整序英作文	3		6	
		C 会話応答の英作文	3		8	
第3問	論理・談話構成を問う 読解	A 不要な文の削除	3	6	8	17
		B 発言内容の要約	3		9	
第4問	情報处理的視点からの 文章の読解	A 図表と説明文の理解	4	8	10	20
		B 案内文の内容の理解	4		10	
第5問	出来事の展開を叙述する 文章の読解		5	6	15	15
第6問	論説文の読解	A 内容の理解	5	6	15	18
		B 段落要旨の理解	1		3	

語彙・文法語法

第2問

A 次の問いの[8]～[17]に入れるのに最も適当なものを，それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1 Due to the rain, our performance in the game was [8] from perfect.

- ① apart ② different ③ far ④ free

問2 Emergency doors can be found at [9] ends of this hallway.

- ① both ② each ③ either ④ neither

語句整序英作文

第2問

B 次の問い(問1～3)において、それぞれ下の①～⑥の語句を並べかえて空所を補い、最も適当な文を完成させよ。解答は[18]～[23]に入れるものの番号のみを答えよ。

問1

Tony : Those decorations in the hall look great, don't they? I'm glad we finished on time.

Mei : Yes, thank you so much. Without your help, the preparations
____ [18] ____ [19] ____ all the guests arrive this afternoon.

- ① been ② by ③ completed ④ have
⑤ the time ⑥ would not

Example 1 (Vocabulary and Reading Comprehension)

TOEFLテスト日本事務局HPより

It is difficult to get young people to plan for their old age, which seems very **distant** to them.

A. impossible B. far away C. observable D. fearful

Examples 2 (Structure and Written Expression)

Geysers have sometimes been compared to volcanoes
_____ they both emit hot liquids from below Earth's
surface.

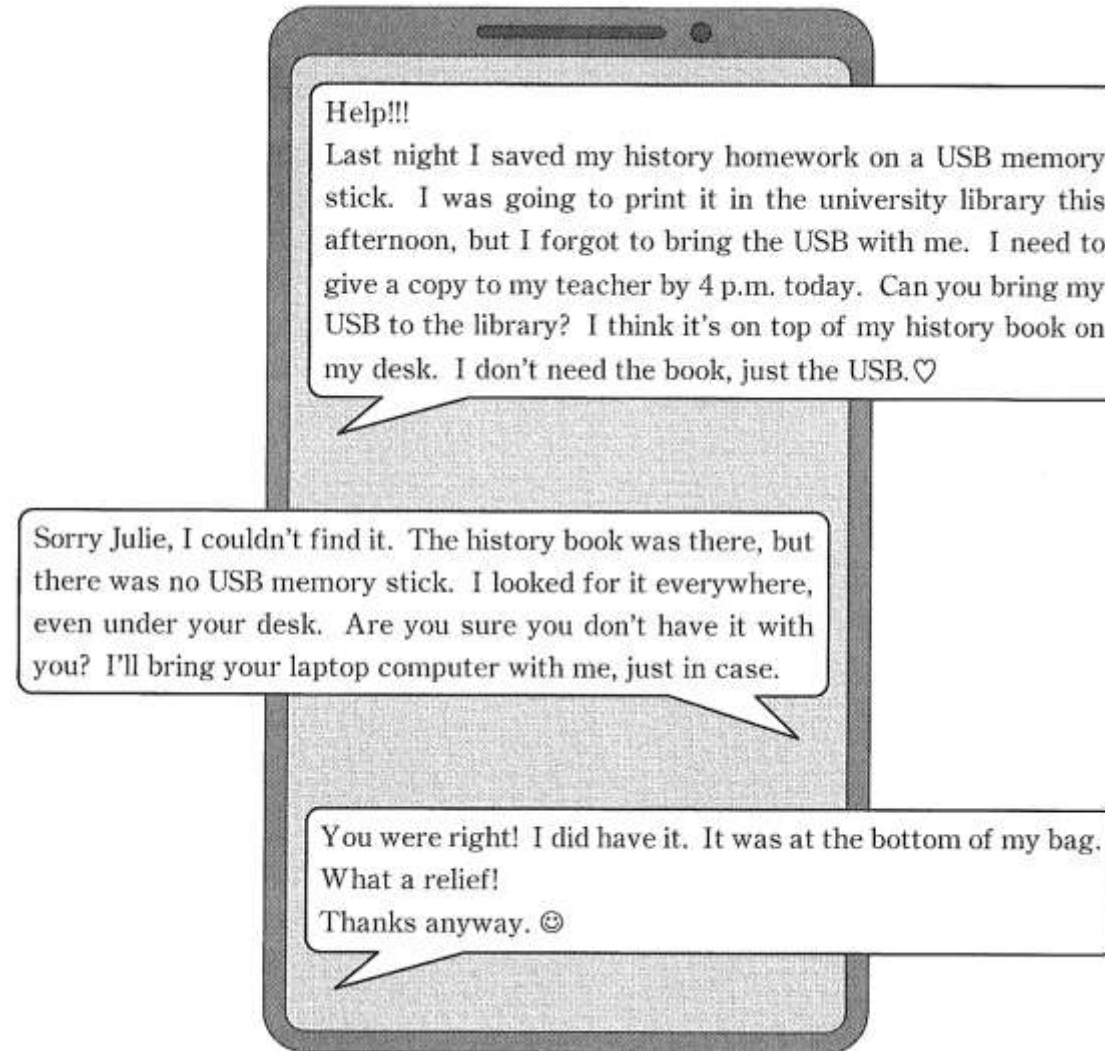
A. despite B. because C. in regard to D. as a result of

TOEFL ITPでは今でも出題されている問題形式

- 1 「リーディング」と「リスニング」の2種類の試験で実施
- 2 「知識・技能」を単独で問う問題がなくなった
- 3 実際のコミュニケーションの場面において
英語を適切に活用する技能を測る問題の増加**
- 4 総語数・図表数の増加

実際のコミュニケーションを想定した問題例（1）

第1問 A Your dormitory roommate Julie has sent a text message to your mobile phone with a request.



第5問

690語の英文記事を読み、プレゼン用のスライドを作成する

Using an international news report, you are going to take part in an English oral presentation contest. Read the following news story from France in preparation for your talk.

内容理解・要旨・概要把握（読解）



情報を整理してスライド・表・ポスターにまとめる（発表）

Your Presentation Slides

30



Central High School
English Presentation Contest

Who's Who?

Main figures

· ·

Minor figures

·

31

Pre-fame Storyline

Sabine's horse dies.

32

33

34

35

Aston and Sabine start going to shows.

Aston's Abilities

Aston can:

- learn by simply watching Leon's training.
- walk, gallop, and stop when Sabine tells him to.
- understand distance and adjust his steps.

36

37

Aston Now

Aston today:

- is a show-jumping bull.
- travels to fairs and events with Sabine.

38

- ・メール
- ・図書館の利用案内
- ・演劇パンフ
- ・英語キャンプの案内
- ・観光コース紹介
- ・ウェブサイト
- ・ブログ
- ・広告ウェブサイト
- ・ポスター制作
- ・プレゼン準備

→すべての大問で場面設定

- 1 「リーディング」と「リスニング」の2種類の試験
で実施
- 2 「知識・技能」を単独で問う問題がなくなった
- 3 実際のコミュニケーションの場面において
英語を適切に活用する技能を測る問題の増加
- 4 総語数・図表数の増加**

年度	R2	R3	R4	R5	R6
試験	センター試験	大学入学共通テスト			
総語数	約4300語	約5500語	約6000語	約6100語	約6200語
図表の数	3	14	12	11	15

- 1 大学入学共通テストになって以降、**総語数は一貫して増加**している
- 2 大学入学共通テストでは**すべての大問で図表**が使われている

WPM : Words Per Minute(1分間に読める語数)

TOEFL ITP

300語×5題 (55分)

27語/分

TOEFL IBT

700語×3題 (54分)

39語/分

センター試験 (R2)

4300語 (80分)

54語/分

共通テスト (R6)

6200語 (80分)

78語/分

Ⅱ 共通テストに対しての意見・評価（１）

令和３年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書より

全国英語教育団体連合会による意見・評価（全国の中学・高校の英語教員約6万人が会員）

- ・ 情報量増加、問題も複雑化、短時間で注意力や解答方法への慣れを測定するような試験
- ・ じっくりと考える時間を設定して思考力を十分に測るような試験問題に改善すべきではないか

本当の意味で「読みながら考える」という読解力、思考力を測っているとは思えません。判断力についても、考えて判断する力ではなくて、情報を読み取って手早く処理するような、反射神経のある受験生が得をしたのではないのでしょうか。

「【初めての共通テスト(2)] 鳥飼立教大名誉教授に聞く」 『教育新聞』 2021年2月1日

「大学入学共通テストは 21 世紀に必要な思考力を測定しているのか？」

近藤睦美,宮尾万理(2023),『全国英語教育学会紀要 2023』,pp.81 -96

共通テストのリーディング問題(2021,2022)について, 英語の読解力と並行して 思考力を評価するために開発されたものなのかを検証。ブルーム分類法(低次の思考:remember から高次の思考:create まで6段階に分類)を適用し,受験者が各試験問題に解答する際に必要とされる認知プロセスを分析した。

すべての問題が低次の思考力を必要とし,高次の思考力を必要とする問題はわずかであることがわかった。今回の研究は,リーディング問題における思考力の評価が限定的であることを実証した。

令和３年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書より

高等学校教科担当教員（各都道府県教委等から推薦された高校教員）

- ・ 授業内での活動を意識した設定になっている
- ・ 情報を発信・伝達・表現するといった様々な設定の下に設問が作られている
- ・ より現実に近い設定で、読む技能を試すだけでなく、発展的に思考して判断する力を問うもの

令和３年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書より

問題作成部会の見解

＊「情報操作能力を測っているのではないかとの指摘に対しては，設計上の違いがあることを記しておきたい。日常生活において，ペーパーバックや新聞，ウェブなどの情報を楽しんで読むとなると，一定のスピードが必要となる。本テストでは，巡航速度（スピード）に乗って英語を理解することを念頭に，実践的なコミュニケーション場面において「その場で読み取る」能力の測定をしている。」

Ⅲ センター試験で問われていた問題形式が測っていたもの

	出題の内容			設問数		配点	
第 1 問	音声の知識	A	単語発音	3	7	6	14
		B	単語第 1 強勢	4		8	
第 2 問	語彙・文法語法・表現	A	語彙・文法語法	10	16	20	47
		B	語句整序英作文	3		12	
		C	会話応答の英作文	3		15	
第 3 問	論理・談話構成を問う読解	A	不要な文の削除	3	6	15	33
		B	発言内容の要約	3		18	
第 4 問	情報处理的視点からの文章の読解	A	図表と説明文の理解	4	8	20	40
		B	案内文の内容の理解	4		20	
第 5 問	出来事の展開を叙述する文章の読解		物語文の内容の理解	5	6	30	30
第 6 問	論説文の読解	A	内容の理解	5	6	30	36
		B	段落要旨の理解	1		6	

いわゆる「語順整序」問題についての分析結果を紹介
(大学入試学会 9/28個人発表)

- ① 語順整序(3 題)と実際に英語を書かせる問題(和文英訳・自由英作文)はどの程度の関係性を持っているのか。

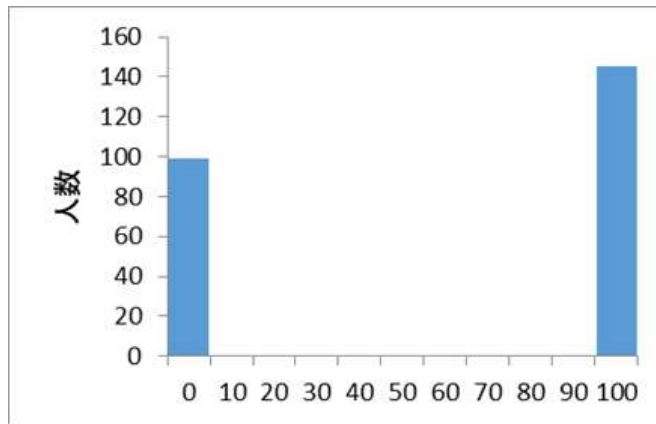
→語順整序ができている受験生は和文英訳・自由英作文もできているのか？

- ② 語順整序(3 題)によって**英語を書く力を予測すること**は**可能**なのか？

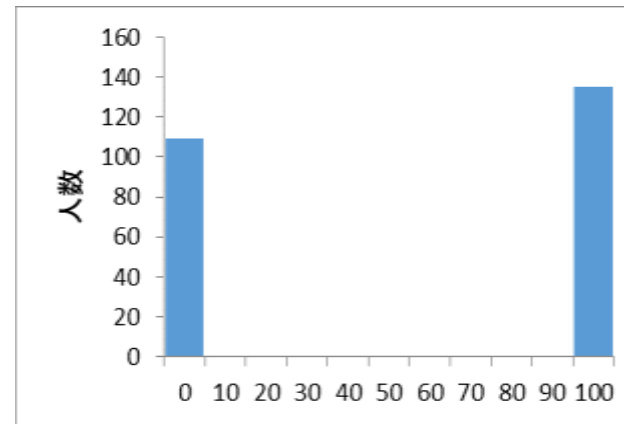
「大学入試英語における語順整序問題は英語を『書く力』を測ることができるのか（２）」より

語順整序の各小問の得点分布

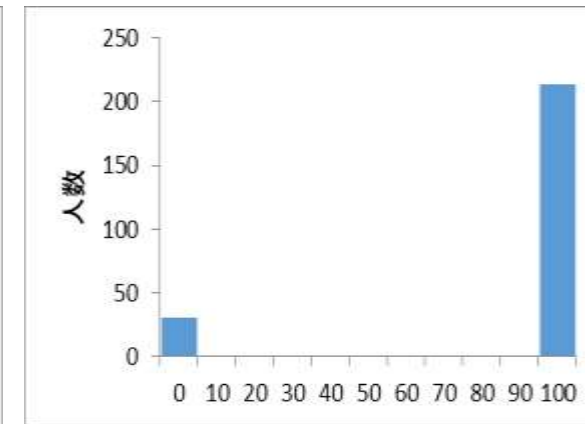
* 配点は非公表のため得点率で表記



小問 1

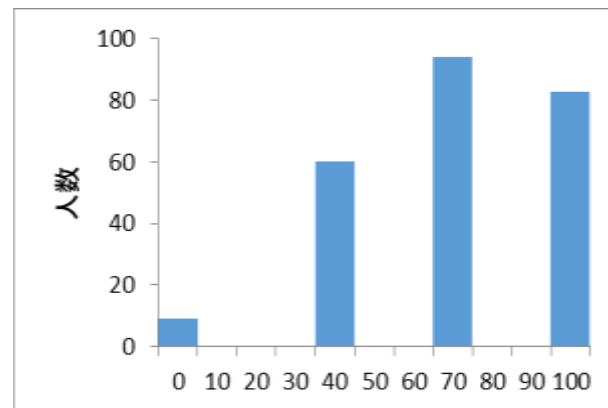


小問 2

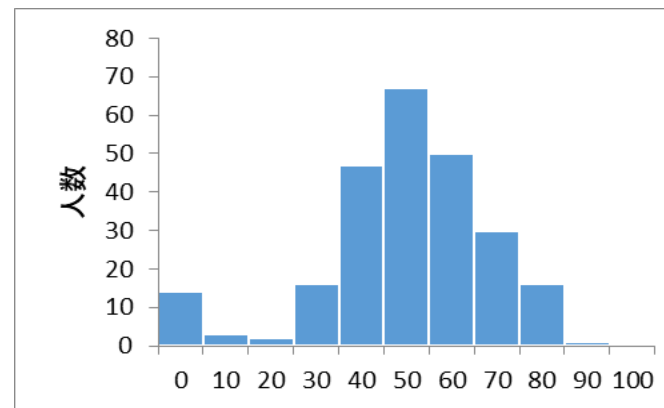


小問 3

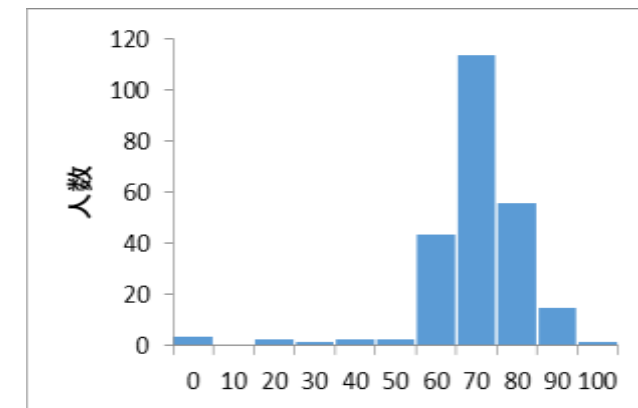
語順整序 3 題の合計



和文英訳



自由英作文



- ①語順整序（３題）と実際に英語を書かせる問題（和文英訳・自由英作文）はどの程度の関係性を持っているのか。

語順整序と和文英訳との相関係数0.43 →**語順整序と和文英訳は中程度の相関**
(各小問とは, 0.26,0.31,0.27)

語順整序と自由英作文との相関係数0.22 →**語順整序以外の要因の影響強い**
(各小問とは, 0.15,0.10,0.18)

- ②語順整序（３題）によって英語を書く力を予測することは可能であるか
→**可能だが精度は高くない** 他の要因が影響を与えている可能性あり

大学入試センター試験 第2問 出題内容

	出題の内容			設問数		配点	
第1問	音声の知識	A	単語発音	3	7	6	14
		B	単語第1強勢	4		8	
第2問	語彙・文法語法・表現	A	語彙・文法語法	10	16	20	47
		B	語句整序英作文	3		12	
		C	会話応答の英作文	3		15	

「『知識・技能』を単独で問う問題」も、決して「知識・技能」だけを測っていたわけではなく、複合的に出題することで英語を書く力が結構測れていたのではないかな。

ご清聴ありがとうございました